

いちご研究所では、どんな仕事をしていますか？



いちご研究所には2つの部署があります。

ひとつは、企画調査担当です。

いちごの経営・流通や消費者意識の調査などを行っています。

ふたつめは、開発研究室です。

ここでは新しいいちごの品種を開発したり、いちごの栽培の方法・技術について研究をしたりしています。



いちご研究所の玄関

いちご研究所はいつからありますか？



栃木県のいちごの研究開発は、昭和44年に当時の県農業試験場の佐野分場ではじまり、昭和49年に栃木市の栃木分場に移されました。

栃木分場では、いちごの他、かんぴょう、麦の研究を行ってきましたが、農業試験場全体の組織の見直しにより、平成20年10月にいちご専門の研究施設である「栃木県農業試験場いちご研究所」となりました。

そして令和6年4月、「栃木県農業試験場」は「栃木県農業総合研究センター」として新体制がスタートし、いちご研究所も「栃木県農業総合研究センターいちご研究所」に名称が変わりました。